

関係各課のヒアリングを通じて、現行計画の振り返りを行い、「北杜市こども計画・第3期北杜市子ども・子育て支援事業計画」に引き継ぐ課題を整理しました。

基本目標1 愛で育むほくとっこ～母子保健・医療体制ネットワークの充実～

<p>現行計画の方向性</p>	<p>安心して妊娠・出産ができ、母子ともに健康で過ごせるよう、病気やケガの対応にも心配のない体制の整備に努めます。また、本市の豊かな自然環境のもと、食を通じて地域等を理解することや、食文化の継承、健全な食生活の実現をめざします。</p> <p>(1) 母子の健康の確保</p> <p>①妊娠・出産への支援の充実</p> <p>②乳幼児の健康管理の支援</p> <p>③育児に関する保健指導、相談の充実</p> <p>④小児医療の充実</p> <p>⑤食育の推進</p>
<p>主に取り組んできたことと課題</p>	<p>(1) 母子の健康の確保</p> <p>①妊娠・出産への支援の充実</p> <p>安心して妊娠・出産できる環境づくりに取り組み、北杜市ネウボラを目指すため妊娠期から子育て期までの切れ目ない相談支援体制を整えました。ママパパ学級事業の周知方法の見直しや助産所開業支援の検討が課題です。産前産後の支援の充実と体制強化とともに、プレコンセプションケア(将来の妊娠を前提に女性やカップルが自分の生活や健康に向き合うことへの支援)も検討します。</p> <p>②乳幼児の健康管理の支援</p> <p>子どもの成長と親の不安軽減のため、発育・発達や健康状態の把握に努め、疾病の予防や早期発見を行います。食事や栄養に関する悩み保護者が増加しており、健康診査や保健師の訪問・相談が必要です。</p> <p>③育児に関する保健指導、相談の充実</p> <p>出産後の家庭訪問や乳幼児健診で子育て支援を行い、発育・発達の問題を早期発見・支援します。子育て世代包括支援センターでの相談や情報提供も行い、保護者のニーズに応じた支援を強化します。児童虐待の予防や早期発見にもつながるよう、乳幼児健診を推進します。</p> <p>④小児医療の充実</p> <p>医療費助成のほか、産婦人科や小児科の開業支援など小児医療体制の充実を図り、安心して医療サービスを受けられる環境を整えました。小児救急の受診患者が増加しており、小児救急医療体制の維持が必要です。</p> <p>⑤食育の推進</p> <p>乳幼児期から望ましい食習慣を定着させ、学校給食の地産地消率を高めるため事業者と連携しています。家庭での食事はコミュニケーションの場でもあり、規則正しい食習慣の実践や共食の推進が求められています。</p>

基本目標2 学び育つほくとっこ～保育・子育て支援サービスの充実～

<p>現行計画の方向性</p>	<p>子育てにおいて、ひとりの保護者に過度な負担がかかることなく、子どもと保護者が信頼関係を築き、ともに楽しい毎日が過ごせるよう支援の充実を図ります。また、育児に不安を抱える保護者等が孤立することがないように、相談窓口の充実や情報発信を行い、子育てを安心して行える環境づくりを進めます。</p> <p>(1) 子どもの年齢に応じた支援サービスの充実 ①就学前教育・保育サービスの充実 ②保育施設の整備、運営の充実 ③子育て支援サービスの充実</p> <p>(2) 子育てに関する相談体制及び情報提供の充実 ①子育てに関する相談体制及び情報提供の充実</p>
<p>主に取り組んできたことと課題</p>	<p>(1) 子どもの年齢に応じた支援サービスの充実</p> <p>①就学前教育・保育サービスの充実 保護者が安心して子育てができるよう、利用者の視点に立った就学前教育・保育サービスの充実に努めました。また、スムーズな就学に繋げるため、教育委員会、保育園と連携し5歳児相談事業を実施しています。幼児期の教育・保育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培うものであることから、今後も、幼児教育・保育の質の向上を図っていく必要があります。</p> <p>②保育施設の整備、運営の充実 防災や防犯などの安全面に配慮した施設整備及び維持管理を計画的に進め、保育ニーズに応えられるよう人材の確保を行いました。多様な保育ニーズに対応するため、低年齢児保育や認定こども園化など教育・保育サービスの充実の検討が必要です。保育士の確保や処遇改善も重要です。</p> <p>③子育て支援サービスの充実 在宅保育家庭を含むすべての子育て家庭に対する支援を充実させました。地域子育て支援拠点事業の利用促進も図ります。</p> <p>(2) 子育てに関する相談体制及び情報提供の充実</p> <p>①子育てに関する相談体制及び情報提供の充実 育児に関する相談窓口や情報提供を充実させ、体制を強化しました。やまねっとやママ記者ブログを活用し、子育て支援に関する情報提供を進めます。SNS やアプリも活用し、情報発信を強化します。</p>

基本目標3 たくましく育つほくとっこ～生きる力を育む教育の推進～

<p>現行計画の方向性</p>	<p>本市の次代を担う子ども達が地域に愛着を持ち、将来に夢と希望を持って、心身ともに健やかに成長できる環境の実現をめざします。また、情報化が進む社会において、その利便性を最大限に活用しながら、同時に子どもが犯罪等の情報化の影の部分に巻き込まれないよう情報化教育を推進します。</p> <p>(1) 生きる力を育む教育（原っぱ教育）の推進</p> <p>①ライフステージを通じた教育・体験機会の提供</p> <p>②思春期保健対策の充実</p> <p>③子どもの体力づくりやスポーツ活動の促進</p> <p>④郷土の自然・芸術文化等に関する学習支援（再掲）</p> <p>⑤不登校・いじめ防止対策の推進</p> <p>⑥教育の情報化の推進</p>
<p>主に取り組んできたことと課題</p>	<p>(1) 生きる力を育む教育（原っぱ教育）の推進</p> <p>①ライフステージを通じた教育・体験機会の提供</p> <p>子どもたちが主体性や社会性、自己肯定感を育むための教育・体験機会を提供しています。教育ファーム事業や放課後子ども教室などを通じて、地域や異年齢児童との交流を促進しています。今後も、子どもの多様なニーズに対応し、支援者の確保を進めます。</p> <p>②思春期保健対策の充実</p> <p>思春期の子どもと保護者に対して、性教育や健康教育を推進し、健全な育成を図っています。中学生対象に「命の大切さ」を伝える思春期教室や早期の性教育が重要です。今後も、養護教諭の支援体制や健康診断、薬物乱用防止教育を推進します。</p> <p>③子どもの体力づくりやスポーツ活動の促進</p> <p>外での遊びやスポーツの機会を確保し、アスリートとの交流や学校給食の補助を行っています。今後も、地域資源を活用した体力づくりや環境づくりを進めます。</p> <p>④郷土の自然・芸術文化等に関する学習支援</p> <p>自然や芸術・文化を通じて、環境や地域を大切にする心を育みました。資料館施設運営事業や「飛び出せ！学芸員」事業を通じて、学校や地域との連携を強化します。</p> <p>⑤不登校・いじめ防止対策の推進</p> <p>学校、地域、家庭と連携し、いじめ防止対策を推進しています。不登校児童の支援には、スクールカウンセラーやICTを活用した学習支援が必要です。いじめ防止対策も強化し、いじめの未然防止教育を推進します。</p> <p>⑥教育の情報化の推進</p> <p>情報教育を進め、インターネット上での誹謗やいじめ、犯罪防止のための情報モラル教育を推進しています。ICT環境の整備やデジタル・シティズンシップ教育も進めます。</p>

基本目標4 守り育むほくとっこ～子どもの権利保障と安全・安心の実現～

<p>現行計画 の方向性</p>	<p>本市に住む全ての子どもが、生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利という4つの権利が保障され、安全に自分らしく暮らせるよう、子どもの視点に立った環境と生活基盤の整備を進めます。</p> <p>(1) すべての子どもが等しく成長できる環境づくり</p> <p>①児童虐待防止対策の推進 ②障がい児支援の充実 ③ひとり親家庭への支援 ④子育て世帯への経済的支援の充実</p> <p>(2) 子どもの安全の確保</p> <p>①安全及び防犯対策の強化 ②安全教育の推進 ③子育てに関する相談体制及び情報提供の充実(再掲)</p>
<p>主に取り組ん できたことと 課題</p>	<p>(1) すべての子どもが等しく成長できる環境づくり</p> <p>①児童虐待防止対策の推進 児童虐待を未然に防ぐため、相談や訪問を通じて保護者の不安を解消し、早期発見と対応を強化しています。地域のネットワークと連携し、虐待予防に努めます。また、里親やファミリーホームの確保・充実も進めます。</p> <p>②障がい児支援の充実 障がいのある子どもが地域で生活できるよう、一人ひとりに合った支援に努めました。障害児通所支援では、計画相談員やサービス提供事業所不足が課題です。障がいの原因となる疾病等の予防と早期発見に努め、療育支援を充実していく必要があります。</p> <p>③ひとり親家庭への支援 ひとり親家庭の就労や子どもの養育を支援し、経済的支援や生活支援を行いました。ひとり親家庭が抱える様々な課題や個別ニーズに対応するため、それぞれの状況に応じて、生活支援、子育て支援、就労支援等が適切に行われるよう取り組む必要があります。</p> <p>④子育て世帯への経済的支援の充実 経済的支援を必要とする子育て世帯に対し、制度に従い、必要な支援を実施しました。今後も、安心して子育てができるよう各種支援について検討します。</p> <p>(2) 子どもの安全の確保</p> <p>①安全及び防犯対策の強化 交通安全施設の整備や防犯対策を進め、子どもが安心して過ごせる環境を整えました。スクールガードリーダーの確保が課題です。</p> <p>②安全教育の推進 交通安全意識を高めるため、専門交通指導員を配置し、交通安全教室を開催しました。保護者の安全意識向上のための啓発活動も推進します。</p> <p>③子育てに関する相談体制及び情報提供の充実 子育てに関する相談体制や情報提供を強化し、保護者が必要なときに支援を受けられる環境を整えます。</p>

基本目標5 みんなで育むほくとっこ～地域の特性を生かした子育ての推進と子ども・子育てにやさしい地域づくり～

<p>現行計画の方向性</p>	<p>恵まれた自然環境と文化の中で、地域に住む多くの人に見守られ、共に助け合いながら安心して子育てができる環境を実現するとともに、すべての人が心から住み続けたいと思えるまちづくりに努めます。</p> <p>(1) 地域の特性を生かした子育ての推進 ①食育の推進 ②郷土の自然・芸術文化等に関する学習支援 ③保・小・中・高による連携・交流の促進</p> <p>(2) 地域で子育てを支える仕組みづくりの推進 ①市民参画と交流・連携による地域づくり ②子育て支え合い活動への支援 ③仕事と子育ての両立支援 ④妊産婦や子ども連れにやさしいまちづくり</p>
<p>主に取り組んできたことと課題</p>	<p>(1) 地域の特性を生かした子育ての推進</p> <p>①食育の推進（再掲）</p> <p>②郷土の自然・芸術文化等に関する学習支援（再掲）</p> <p>③保・小・中・高による連携・交流の促進 個々の子どもに合った教育を充実させました。県内唯一の中高一貫校では、連携と交流を行いました。市立保育園や放課後児童クラブでは、中高生の職場体験を積極的に受け入れました。今後も、中学校・高校の連携を図り、それぞれの特徴に即した教育の推進が必要です。</p> <p>(2) 地域で子育てを支える仕組みづくりの推進</p> <p>①市民参画と交流・連携による地域づくり 未来を支える人材を地域全体で育てる意識のもと、地域住民、企業、団体、行政が連携して子育て支援を充実させました。青少年の育成には、事業の周知や支援者の確保、コーディネーターの養成が課題です。今後も、こどもや若者、子育て当事者を地域社会全体で支える気運を醸成することが必要です。</p> <p>②子育て支え合い活動への支援 地域での子育て支援活動を進め、支援や応援を受けた保護者や子どもが地域活動に積極的に参加する好循環を目指しました。ファミリー・サポート・センターでは協力会員の高齢化が課題で、新規会員の確保が必要です。今後も、子育て支え合い活動への支援が必要です。</p> <p>③仕事と子育ての両立支援 子育ての負担が一人に偏らないよう、保育環境の充実と意識啓発、労働環境の改善を行いました。育児休業を取得しやすい環境づくりと、働き方に関する啓発、経済的負担やキャリアへの影響を軽減する支援の検討も必要です。男性の家事・子育てへの参画の意識改革と、就労環境の見直しが課題です。</p> <p>④妊産婦や子ども連れにやさしいまちづくり 子どもや子育て家庭、地域住民全体が安心して生活できる都市空間を形成するため、道路環境や公共施設、子育て支援住宅、公園等の充実に努めました。今後も、安全・安心できるバリアフリー化を進めることが必要です。</p>